

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

オープンキャンパスで、雰囲気や充実した設備に惹かれました。
また、総合大学ということで、音楽だけでなく様々な事を
学べると思い受験を決めました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強、実技試験対策の進め方について。 〔※音楽学科入試課題については、『2018年度音楽学科入試課題』で必ずご確認ください。〕

〔1学期〕

ソルフェージュやコールユーブングンの学習を始めました。
学校の課題はできるだけ学校で済ませて
家では実技の練習に集中できるようにしました。

〔夏休み〕

夏休みはコンクールに多く出場するようにしました。
緊張に慣れるためのよい経験になったと思います。
コンクールで頂いた講評やアドバイスはその後の
練習の指標として役立ちました。

〔2学期～入試直前〕

2学期からは過去問を解き始めました。
音楽文化専攻との併願を考慮していたので、学校の先生に
小論文の添削をして頂いていました。
コールユーブングンは暗記するくらい歌い込みました。
入試直前は、今まで注意した点を思い出しながら、
丁寧に練習することを意識してしました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

学校行事や部活動は悔いのないよう一生懸命取り組みました。
健康面では、人ごみへ行くときはマスクをするよう心がけたり、
睡眠をしっかりとっていました。
スランプに陥ったら、思い切って旧受験の事から離れて
リフレッシュすることも大切だと思います。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験は長く辛いことや不安になることがあると思います。
ですが、これまで練習してきたことを信じ、自信をもって
挑んでください。応援しています。